

平成18年度 学校経営計画(診断結果広島市立広島養護学校)

学校教育目標	
<基本目標>	児童・生徒の発達を保障する教育を行い、一人ひとりの力を伸ばして、主体性をもって豊かに生きる人間を育てる。
<学部目標>	訪問学級:生きる力を育てる。 小学部: 先生や友達といっしょに生活する楽しさを感じ取り、自分から進んでものごとに取り組む力を育てる。 中学部: 主体的に生活する力を育てる。 高等部: 豊かに生活できる力をつける。

目指す学校像<ビジョン> 一人ひとりが大切にされ、児童・生徒、家庭、地域社会に信頼される学校	
・一人ひとりの児童・生徒を大切に作る学校 ・安全で、清潔で、整った学校 ・「都市型」「総合型」「学校、地域の特別支援の教育センター」「開かれた学校」の各機能を果たす学校	・専門性を高め合い、弛まぬ教育実践をおこなう学校 ・児童・生徒、家庭、地域社会に開かれた学校

領域	中間経営目標	短期経営目標	具体的方策		評価		次年度以降の課題と対応策
					努力指標	成果指標	
学力の向上・豊かな人間性の育成	一人ひとりの児童・生徒を大切に、法令等に準拠した計画的な教育活動を推進する。	「個別の指導計画」並びに、「個別の教育支援計画」や「個別の移行支援計画」の作成手順を明らかにするとともに、活用上の課題整理と必要に応じて書式の改訂をおこなう。	「個別の指導計画」の作成・活用の手順(保護者の意向の把握や提示・年間指導計画への反映、学期ごとの見直し等)を明らかにし、指導に活用する。	3	3	小中学校への支援を視野に入れ、具体的方策を検討し継続して取り組む。	
			「個別の教育支援計画」「個別の移行支援計画」の作成・活用手順(関係諸機関や本人・保護者との連携、情報提供等)を明らかにし、指導に活用する。	3	3	小中学校への支援を視野に入れ、具体的方策を検討し継続して取り組む。	
		社会体験や自然体験等、豊かな体験活動の教育課程上明確に位置づけ、計画的・積極的に実施する。	各種体験活動を小・中・高等部の学年進行に即して教育課程上整理し、計画的・積極的に進める。	3	3	学部内の整理とともに、小中高の系統性を考えながら、計画・実施していく。	
		小・中・高等部の学年進行に即して近隣校の児童生徒や地域の人々との交流計画を作成・実践するとともに、評価方法を明確にし、指導の改善・充実を図る。	2	2	系統性を考え、学部ごとの交流のあり方を検討しながら計画・実施していく。		
		児童生徒の実態に即して読み聞かせ等、読書活動の時間を設定し、計画的に取り組む。	3	3	児童生徒の発達段階に合わせた指導方法を検討しながら読書活動を進めていく。		
専門性の向上	教職員一人ひとりが児童生徒の障害実態や発達の課題、疾病等への配慮事項に即した指導方法を習得し、日々の指導の工夫・改善を図る。	努力事項の取組みを通して、指導方法や評価方法等についての研究を深める。	年間指導計画に基づいて学部・学年・グループ等での研修会(授業公開・研究協議等)を開催し、指導案の形式や指導・評価方法の工夫・改善をおこなう。	4	3	講話だけでなく参加型の研修会や運営方法も検討しながら継続して取り組む。	
			日案・週案あるいは指導記録をもとにして指導の見返りをおこなうとともに、記録を収集し指導の工夫・改善に活かす。	4	3	見返りの方法を検討しながら継続して取り組む。	
		児童生徒の発達段階等を客観的に把握する手法を習得し、指導・評価に活用する。	各種標準検査の実施方法や結果の分析・解釈等について研修し、指導・評価に活かす。	3	4	学級・学年で積極的に活用する方策を検討しながら継続して取り組む。	
		教育課題の改善に直結した専門研修を進める。	自閉症や脳性麻痺、進行性疾患等について、その実態理解や指導の在り方等に関わる研修を深める。	3	3	各クラスで児童生徒のアセスメントや指導を検討しながら、専門性を高める研修に継続して取り組む。	
		医療機関等との緊密な連携を図る。	主治医・看護師との連携をより緊密にし、医療的ケアの研修を進めて日々の指導の充実を図る。	4	3	医療的ケアにかかわる職員の研修には成果があったが、全職員に対しての研修体制についても検討を行ない、継続して取り組む	

教育環境の整備	安全で且つ清潔で児童生徒が活動しやすい整った教育環境づくりと校内体制の整備・充実を図る。	在籍する児童生徒の実態に即した教室等の環境整備を図る。	学習コーナーの設置や日課表示の工夫など、教室の構造化を図る。	2	3	児童生徒の発達段階や障害の特性を考慮に入れながら、引き続き取り組む。
			教室内外の物品等の整理整頓を進めて安全な生活環境を整えるとともに、児童生徒作品等の掲示方法を工夫する。	3	3	生徒増からくる狭隘化のなかで本年度より状況は厳しくなるが、安全を確保するために、引き続き取り組む。
		緊急時の予防安全体制の充実を図る。	不審者侵入に関する教職員研修や児童生徒への指導を通して、校内体制の整備・改善をおこなう。	1	3	具体的方策の検討を行い継続して取り組む。
			スクールバス乗車中の事故や体調急変時の対応マニュアルの整備と研修をおこなう。	2	3	マニュアルの整備ができたので職員に周知・徹底しながら継続して取り組む。
		施設整備の安全点検を確実に実施するとともに、老朽化施設整備の安全対策を立てる。	安全点検を確実に実施して修理・修繕の可否をとりまとめ、対応を迅速におこなう。	3	3	継続して取り組む。
		保健・衛生の指導・管理体制の充実を図る。	感染症予防、給食・調理実習等における指導・衛生管理を徹底する。	3	3	職員の意識の向上を図りながら継続して取り組む。
			児童生徒の怪我等の発生実態や要因等を分析し、その実態を明らかにするとともに予防策を講じる。	4	3	本年度の調査の分析を職員に周知しながら予防策を講じ、引き続き調査を行ない分析を進めていく。
家庭・地域社会との連携	児童・生徒、家庭、地域社会に開かれた信頼される学校づくりを推進する。	学校協力者会議と連携し学校内外の意見・提言を踏まえて開かれた学校作りを目指して、教育活動の改善・充実を図る。	3	3	継続してアンケート調査を行い調査結果から教育活動の改善・充実を図る。	
		学校・学年・進路等の便りの発行Webページの内容の充実等により、教育活動の紹介や行事の案内等、各種情報発信を積極的におこなう。	3	3	継続して積極的な情報発信に取り組む。	
		保護者や児童生徒に対する、各種団体等による情報提供の取扱基準を設定し、それに基づいて適宜情報を提供する。	4	3	継続して取り組むが枠組みはできたので、来年度の取組み事項からは削除する。	
新たな養護学校移行への対応	本校の将来構想に掲げられた、各種機能「都市型」「総合型」「学校、地域の特別支援の教育センター」開かれた学校、を果たす学校づくりを構想・推進する。	学校建替えに関わる基本構想に沿って、各種情報の収集と研修を深め、学校の意向を随時集約・提示し、新たな養護学校の基盤作りを進める	先進校の視察・各種情報[教育課程・校内組織・施設等]の収集、校内周知・共有化をおこなうとともに、基本構想の概念整理と移転開校までの構想実現化の具体的スケジュールを整理する	3	2	継続して情報収集を行い共有化を図る。
			特別支援学校への移行を踏まえ、各学部ごとの単一障害学級・重複障害学級・訪問学級における、学級や学習集団の編成、教育課程の編制について研修を深める。	3	3	重要事項として計画的に継続して取り組む。
		センター的機能とコーディネーターの在り方について検討するとともに、可能な事項については実行する。	センター的機能やコーディネーターの在り方について整理し、校内組織体制の整備策をとりまとめる。	3	2	本年度、市内小中学校のアンケート調査から支援ニーズを把握を行なったので分析を進め、本校としてのセンター的機能の在り方について検討を深めていく。
			本校に対する、各学校(本校の通学区域内)の支援ニーズを把握するとともに、備品等の貸与・研修会への参加案内等、可能な事項について取り組む。	3	3	支援策のPRや具体的に支援策の推進手順・システム等を検討しながら継続して取り組んでいく。